

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第33回システム安全専門部会議事録

1. 日 時 2015年9月7日（月） 10:00～12:00

2. 場 所 田中田村町ビル・貸し会議室（5階）A会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）岡本部長，中村副部長，西村幹事，青木，阿部，上野，小野岡（途中入室），  
勝村，北島，後藤，西田，久宗，福谷，巻上，三村，宮地，宮原，山岸（18名）

（常時参加者）江畑，河井，成宮（3名）

（説明者）【水化学管理分科会】北島英明（幹事／原子力安全推進協会），高木純一（委員  
／東芝），都筑康男（常時参加者／原子力安全推進協会），【PLM分科会】中川信  
幸（委員／原子力エンジニアリング），【炉心燃料分科会】鈴木嘉章（幹事／原子  
力安全推進協会）（4名）

（オブザーバ）北島英明（原子力安全推進協会），都筑康男（原子力安全推進協会）（2名）

（事務局）中越，谷井（2名）

4. 配付資料

配付資料

- |              |  |
|--------------|--|
| STC33-0      | 第33回システム安全専門部会 議事次第（案）                             |
| STC33-1      | 第32回システム安全専門部会 議事録（案）                              |
| STC33-2      | 人事について   |
| STC33-3      | “PLM基準の追補1案”公衆審査結果について                             |
| STC33-4-1    | “沸騰水型原子炉の水化学管理指針“システム安全専門部会決議投票結果につ<br>て           |
| STC33-4-2    | “加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針”システム安全専門部会決議投票結果<br>について       |
| STC33-4-3    | “沸騰水型原子炉の水化学管理指針“システム安全専門部会決議投票における<br>意見対応 について   |
| STC33-4-4    | “加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針”システム安全専門部会決議投票にお<br>ける意見対応について |
| STC33-5      | “原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針”の修正につ<br>いて          |
| STC33-6      | “PLM基準”の修正について                                     |
| STC33-7      | “PLM基準”と補遺との合本について                                 |
| STC33-8      | “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”の修正につ<br>いて          |
| STC33-9      | 3学協会及び標準活動基本戦略タスクでの学協会規格整備計画の検討状況（その<br>15）        |
| STC33-10     | 安全性向上対策採用の考え方に関するタスクの進捗状況（その6）                     |
| STC33-11     | 深層防護WSの実施状況について                                    |
| STC33-12-1-1 | 改定要否の検討結果フォーマット（現行）                                |
| STC33-13     | 分科会の活動状況について                                       |
| STC33-14     | 「沸騰水型原子炉一次冷却系の腐食環境の定量評価に関する基本手順」の現状と<br>今後の対応について  |

## 参考資料

- STC33-参考1 システム安全専門部会委員名簿
- STC33-参考2 標準委員会の活動状況について

## 5. 議事内容

事務局から開始時、委員18名中17名が出席しており、成立に必要な定足数（12名以上）を満足している旨報告があった。

### (1) 前回議事録（案）の確認（STC33-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

### (2) 人事（STC33-2）

STC33-2に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下のとおり審議を行った。

#### 1) 専門部会

##### ① 委員退任の確認

三山 彰一（原子力エンジニアリング）

審議の結果、上記案について 確認された。

#### 2) 分科会

##### ① 委員退任の確認

###### 【PLM分科会】

猿渡 俊也（九州電力）

三山 彰一（原子力エンジニアリング）

###### 【シビアアクシデントマネジメント分科会】

岡本 孝司（東京大学）

鈴木 雅克（日本原子力発電）

廣川 直機（テプコシステムズ）

西 義久（電力中央研究所）

##### ② 委員新任の承認

###### 【PLM分科会】

石井 朝行（九州電力）

###### 【シビアアクシデントマネジメント分科会】

植田 伸幸（電力中央研究所）

山中 勝（日本原子力発電）

藤原 大資（テプコシステムズ）

西村 聡（電力中央研究所）

##### ③ 常時参加者登録の確認

###### 【定期安全レビュー分科会】

林 誠人（北陸電力）

梶原 佑介（関西電力）

森脇 光司（中国電力）

###### 【シビアアクシデントマネジメント分科会】

藤村 雅博（四国電力）

西村 洋一（原子力安全推進協会）

亀井 一央（東芝）

栗田 大輝（日本エヌ・ユー・エス）

佐藤 輝和 (テプコシステムズ)  
谷口 敦 (東京電力)  
堀田 亮年 (原子力規制庁)

⑤ 常時参加者登録解除の確認

【定期安全レビュー分科会】

宮森 巧 (北陸電力)  
森松 秀文 (関西電力)  
福間 淳 (中国電力)

【シビアアクシデントマネジメント分科会】

片上 雄介 (四国電力)  
中野 正信 (三菱重工業)  
黒田 理知 (東芝)  
河井 忠比古 (原子力安全推進協会)  
松本 精二 (日本エヌ・ユー・エス)  
藤原 大資 (テプコシステムズ)  
宮川 雅彦 (東京電力)  
森本 研次 (原子力エンジニアリング)

審議の結果、上記案について承認又は確認された。

(3) 【報告・審議】「PLM基準の追補1案」公衆審査結果について(STC33-3)

事務局からSTC33-3に基づいて、“原子力発電所の高経年化対策実施基準：2015（追補1）”  
についての公衆審査結果の結果、意見がなかったことが報告された。

(4) 【報告・審議】「沸騰水型原子炉の水化学管理指針」及び「加圧水型原子炉一次系の水化学  
管理指針」システム安全専門部会決議投票結果について(STC33-4-1, STC33-4-2, STC33-4-3,  
STC33-4-4)

事務局から STC33-4-1 及び STC33-4-2 に基づいて、“沸騰水型原子炉の水化学管理指針” 及  
び“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針” についてのシステム安全専門部会決議投票にお  
いていずれも可決されたことが報告された。引き続いて、水化学管理分科会の北島幹事、都筑  
常時参加者から STC33-4-3 及び STC33-4-4 に基づいて、システム安全専門部会決議投票で出さ  
れた意見に対する対応案について報告があった。主な質疑は以下のとおりである。

C：STC33-4-4 において容量の単位として「l」が使われているが、「L」が正しいので修正  
すべきである。

A：誤記であるため修正する。

審議の結果、提案するシステム安全専門部会決議投票で出された意見に対する対応案は編集  
上の修正であること及びこの内容を標準委員会で説明することが決議された。

(5) 【報告・審議】「原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針」の修正につ  
いて(STC33-5)

PSR分科会の成宮幹事から STC33-5に基づいて、“原子力発電所の安全性向上のための定期  
的な評価に関する指針” の修正について報告があった。特に質疑はなく、審議の結果、修正案  
は編集上の修正であること及び修正案を標準委員会で説明することが決議された。

(6) 【報告・審議】「PLM基準」の修正について(STC33-6)

PLM分科会の中川委員からSTC33-6に基づいて、“PLM基準”の修正について報告があった。

主な質疑は以下のとおりである。

- ・追記する参考文献については、解説のどこで参考としているか分かるように、該当箇所に文献番号を付けることとする。

審議の結果、修正案は編集上の修正であること及び修正案を標準委員会で説明することが決議された

(7) 【報告・審議】「PLM基準」と補遺との合本について(STC33-7)

PLM分科会の中川委員からSTC33-7に基づいて、”PLM基準”と補遺との合本について報告があった。主な質疑は以下のとおりである。

- ・経年劣化メカニズムまとめ表の電子化にあたっては、改ざんガードをかけることとする。
- ・機械学会誤記対応については、PLM基準2008年版(別冊を含む)を年度内に誤記確認を実施することが、今度の標準委員会で審議される予定である。

審議の結果、”PLM基準”と補遺とを合本して販売することが決議された。

(8) 【報告・審議】「発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書」の修正について(STC33-8)

炉心燃料分科会の鈴木幹事からSTC33-6に基づいて、”発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”の修正について報告があった。

審議の結果、修正案は編集上の修正であること及び修正案を標準委員会で説明することが決議された。

(9) 【報告】「沸騰水型原子炉一次冷却系の腐食環境の定量評価に関する基本手順」の現状と今後の対応について(STC33-14)

水化学管理分科会の久宗委員からSTC33-14に基づいて、”沸騰水型原子炉一次冷却系の腐食環境の定量評価に関する基本手順”現状と今後の対応について報告があり、標準委員会配付資料“専門部会活動状況報告”で本報告について記載することとなった。

学会標準を作成途中で取り止めた場合は、学会事務局のマネジメントに影響するため、今後は技術的評価を十分行ってから標準策定に着手する必要があるとのコメントがあった。

(10) 【報告】3学協会及び標準活動基本戦略タスクでの学協会規格整備計画の検討状況について(STC33-9)

標準活動基本戦略タスクの河井幹事からSTC33-9に基づいて、3学協会及び標準活動基本戦略タスクでの学協会規格整備計画の検討状況について報告があり、了承された。

(11) 【報告】安全性向上対策採用の考え方に関するタスクの進捗状況(STC33-10)

安全性向上対策採用の考え方に関するタスクの河井幹事からSTC33-10に基づいて、安全性向上対策採用の考え方に関するタスクの進捗状況について報告があり、委員専用サイトのシステムを使って意見募集することが合意された。締切は約1ヵ月後の10/6(火)。

(12) 【報告】深層防護WSの実施状況について(STC33-11)

深層防護WS実行委員会の河井幹事からSTC33-11に基づいて、第2回深層防護WSの実施状況進捗状況について報告があり、了承された。

(13) 【報告】標準委員会運営について(STC33-12-1-1)

事務局 からSTC33-12-1-1に基づいて、改定要否の検討結果についての現行のフォーマットが廃止されるとの報告があった。

(14) その他（次回日程等）

次回第 34 回システム安全専門部会は 2015 年 11 月 30 日（月）10:00 から開催することとなった。

以 上